



接着部材の静的二軸(軸方向・ねじり)試験

接着・接合した部材の静的強度を引張速度・回転速度を変化させて評価いたします。

試験技術の概要

● 接着・接合した部材の軸方向+ねじりの静的試験

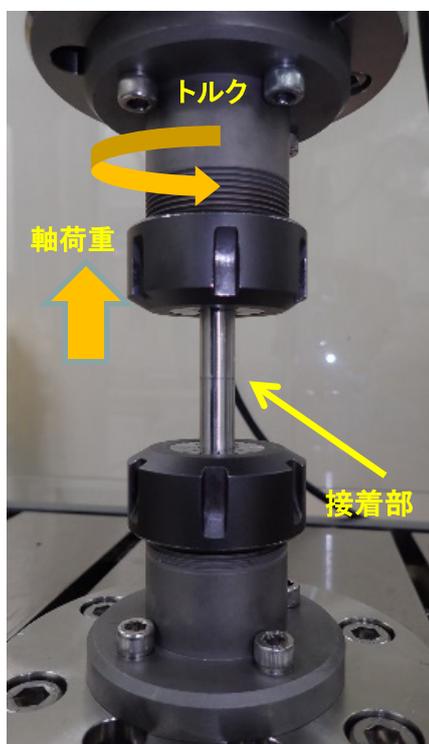
複合的な载荷において、ねじり負荷の速度(回転速度)と引張負荷(引張速度)をそれぞれ変化させて与えることができます。3種類の試験機を有しておりますので、载荷に応じた試験機の選択ができます。

試験概要

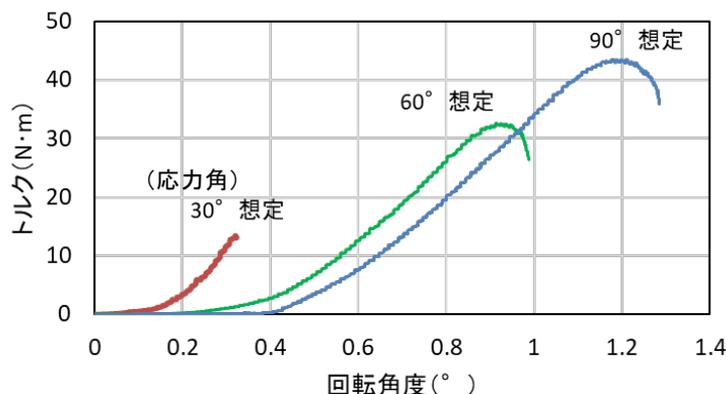
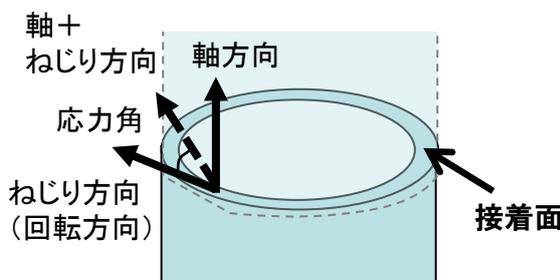
試験環境	室温、大気中※ (その他の試験環境についてはご相談ください。)
試験方法	引張静的負荷 + ねじり静的負荷 (引張側一定応力で保持 + ねじり静的負荷 ねじり一定応力で保持 + 引張静的負荷 も試験可能です。)
最大試験荷重容量	±100kN(100kN二軸疲労試験機)、±10kN(10kN二軸疲労試験機)、±3kN(3kN二軸疲労試験機)
最大試験トルク容量	±1000N・m(100kN二軸疲労試験機)、±100N・m(10kN二軸疲労試験機)、 ±25N・m(3kN二軸疲労試験機)

※100kN二軸疲労試験機は恒温槽を用いた-60℃~250℃環境下の試験も可能です。

試験方法の模式図例



ねじり負荷の速度(回転速度)と引張負荷(引張速度)を、それぞれ変化させて与えることにより、軸+ねじり方向負荷角度を変化させることができます。



各応力角における回転角度とトルクの関係



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2023 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。